



かわち  
議会だより

発行／平成26年12月1日

発行/河内町議会 編集/河内町議会広報委員会  
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183  
TEL 0297-84-2111 FAX 0297-84-4357  
URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>



第3回議会全員協議会

**第36号**

平成26年第3回定例会（9月）  
平成26年第1回臨時会（10月）

**内 容**

審議内容  
一般質問  
県南議員大会報告  
議会議長及び議員の主な動向

# 第3回河内町議会定例会

## 平成26年第3回

### 定例会の概要

9月4日から9月12日までの9日間の会期で開かれた今期定例会において、河内町健全化判断比率等の報告3件、条例制定及び一部改正等4件、稲敷地方市町村圏事務組合の規約の変更について、補正予算5件、認定2件の計15件の執行部案件が提出されました。

本会議初日に教育予算の拡充を求める請願書が教育厚生常任委員会に、認定1号及び2号が決算審査特別委員会に付託され、それぞれ審議した結果、請願書については全委員一致で採択すべきものと決定。本会議最終日において採択。認定1号及び2号についても委員長報告のとおり本会議最終日に認定されました。一般質問では、5名の議員が町政について質問しました。

## 議案の内容と結果

### 報告

平成25年度河内町健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき町の財政状況の報告を受けました。

平成25年度河内町下水道事業特別会計及び平成25年度河内町水道事業会計にかかる資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき町の公営企業の経営状態について報告を受けました。

## 条例改正

河内町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について「可決」

小規模な保育所等を行う業者が施設及び運営について町の認可を受けるための基準を条例で定めたもの。

河内町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について「可決」

児童クラブ等を行う業者が施設及び運営について町の許可を受けるための基準を条例で定めたもの。



河内町特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について「可決」

県が認可した保育施設等及び町が認可した小規模な保育所等を行う業者の運営について町が確認するための運営基準を条例で定めたもの。

河内町防災会議条例及び河内町災害対策本部設置条例の一部を改正する条例について「可決」

災害対策基本法の改正に伴い、市町村の防災会議の所掌事項に防災に関する重要事項を審議することが追加されたことに伴う改正。

## 一部事務組合の規約の変更

稲敷地方広域市町村圏事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び稲敷地方市町村圏事務組合規約の変更について「可決」

平成27年4月から阿見町が稲敷地方広域市町村圏事務組合に加入することに伴う規約の変更

## 補正予算

平成26年度河内町一般会計補正予算(第2号)について(議案第6号)「撤回」

平成26年度河内町介護保険特別会計補正予算(第1号)について「可決」

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,392千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ924,434千円とするもの。

平成26年度河内町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について「可決」

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,665千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ320,629千円とするもの。

平成26年度河内町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について「可決」

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,580千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,358,371千円とするもの。

平成26年河内町一般会計会計補正予算(第2号)について(議案第10号)「可決」

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ59,895千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3,856,959千円とするもの。

## 認定

認定第1号 「認定」

(1) 平成25年度河内町一般会計歳入歳出決算

(2) 平成25年度河内町下水道事業特別会計歳入歳出決算

(3) 平成25年度河内町国民

健康保険特別会計歳入歳出決算

(4) 平成25年度河内町介護保険特別会計歳入歳出決算

(5) 平成25年度河内町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算

(6) 平成25年度河内町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

認定第2号 「認定」  
平成25年度河内町水道事業会計決算の認定

平成25年度河内町一般会計及び5件の特別会計歳入歳出決算の認定並びに水道事業会計決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し付託、慎重な審査の結果認定すべきものと決定し最終日本会議において認定しました。

## 請願

教育予算の拡充を求める請願について「採択」

請願者 水戸市笠原町978-46

茨城県教職員組合

吉田 豊氏 外33名

紹介議員 雑賀 茂

請願事項

- ・きめ細やかな教育の実現のために少人数学級を推進すること。
- ・教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- ・東日本大震災における教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

## 意見書提出

教育予算の拡充を求める意見書の提出について「可決」

教育予算の拡充を求める請願が採択され、地方自治法第99条の規定に基づき次の各関係機関に意見書を提出しました。

- 内閣総理大臣、内閣官房長官
- 文部科学大臣
- 財務大臣
- 総務大臣

## 決算審査特別委員会審査報告

去る、9月4日に開会されました平成26年第3回河内町議会定例会におきまして、決算審査特別委員会に付託されました案件について、審査の結果をご報告申し上げます。

### 認定第1号

- ・平成25年度河内町一般会計歳入歳出決算
- ・平成25年度河内町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成25年度河内町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ・平成25年度河内町介護保険特別会計歳入歳出決算
- ・平成25年度河内町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成25年度河内町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

### 認定第2号

- ・平成25年度河内町水道事業会計決算

以上について、9月4日から5日の2日間、委員8名の出席のもと委員会を開催し、各担当課長の出席を求め慎重に審査をいたしました結果、付託された案件は原案のとおり異議なく可決認定すべきものと決定いたしましたので、ご報告いたします。

平成26年9月12日

決算審査特別委員会委員長 牧山 龍雄

## 小中一貫校視察報告



河内町の統合問題に関して、議会でももつと意見を出し合い、審議を深めるためにも勉強していききたいという思いもあり、9月9日に、急遽でしたが、町長、教育長とともに、つくば市の小中一貫校の春日学園を視察に行ってみました。

最初に私が感じたことは、どの子供たちも、明るく、生き生きとしながらも伸び伸びと楽しそうに勉強している姿でした。建物も、廊下と教室の間は全部ガラスで、とても解放感のあるもので、広々とした多目的ホールには図書も置いてあり、今までの学校のイメージとは全く違うものを感じました。

1年生から9年生までの授業を見学させていただきましたが、1年生から堂々と自信満々に自分の考えをプレゼンテーションしている姿に驚き、また、1年生から外国語の勉強もしており、学校の階段には外国語が張ってありました。電子黒板は各教室に整備され、テレビ会議システムやタブレットとパソコン等を組み合わせて、新たな学びの方法で勉強しておりました。子供たちみずから学び、考え、判断し、活躍している姿に圧倒されました。

つくば市の柿沼教育長が一貫校を作った目的や経緯等をお話し下さいました。6・3では教育の限界が見え、今の子供たちは2歳以上進んでいる。先生方が9年間責任をもって教え、いかに人をつくるか。環境が人をつくる。すべての学校を充実させ、小中一貫校は目的ではなく手段です。中1ギャップもなくなっております。統廃合ではなく子供たちにどのような教育を受けさせるかという事です。統廃合と熱く語っておりました。

確かに、どの子も自信満々に楽しそうにプレゼンテーションしている姿を見て、この子たちなら社会に出た時にすばらしい人材になるだろうなと感じてまいりました。小中一貫教育の素晴らしい一端に触れ感動して帰ってまいりました。

平成26年9月12日

副議長 星野 初英

## 平成25年度決算を認定

| 会計名    |              | 歳入決算額      | 歳出決算額      |
|--------|--------------|------------|------------|
| 一      | 一般会計         | 42億5,134万円 | 39億1,384万円 |
| 特別会計   | 下水道事業特別会計    | 4億1,507万円  | 3億8,536万円  |
|        | 国民健康保険特別会計   | 14億6,752万円 | 13億7,567万円 |
|        | 介護保険特別会計     | 9億5,145万円  | 8億9,745万円  |
|        | 介護サービス事業特別会計 | 630万円      | 622万円      |
|        | 後期高齢者医療特別会計  | 8,800万円    | 8,765万円    |
| 合計     |              | 71億7,968万円 | 66億6,619万円 |
| 水道事業会計 |              | 収益的収入      | 収益的支出      |
|        |              | 2億6,525万円  | 2億3,479万円  |
|        |              | 資本的収入      | 資本的支出      |
|        |              | 162万円      | 3,701万円    |

資本的収入が資本的支出に不足する額3,539万円は過年度損益勘定留保資金及び当年度損益勘定留保資金で補てんした。

## 平成26年 第3回

## 町議会定例会一般質問

要旨をまとめたものです。詳しくはホームページをご覧ください。

### 雑賀 茂 議員

#### ・行政改革について

〈質問〉 行政改革をなぜ進めるのか。その目的、必要性はどこにあるのか伺いたい。

〈答 弁〉 町長

今ある財源の中で何をやるか、それによって地域の人々にどれだけ還元できるかということが大事である。行政サービスの低下を防ぎながら、いかに歳出をカットし集中と選択で真に必要なところにお金を使う。そのような健全な運営をする中で、初めていろいろなか

策ができると思っている。

良いと思うことはどんどん実行し、改善すべきことは切磋琢磨し、議論し、良い方向性を見出していくことが行政改革の中で必要なことである。

#### 〈質問〉

町長就任後どのような行政改革を行ったか。

〈答 弁〉 町長

一つは、すべての歳出の案件について、前年度と同様ではなく中身を精査し、近隣の状況を参考にできるだけ削減するよう指導している。その結果、25年度の

決算では、できるだけ積み立てをさせてもらっている。

一方で、サービスの低下を招かないためには、町民の方の提案や相談に対し、いかに迅速に、丁寧に、誠実に応えることが、行革の中でも一番重要である。

具体的には、交際費を2分の1にしたこと、運転手を臨時職員にしたこと、また今までの契約関係も絶えず見直し、厳しく査定させていただいている。

〈質 問〉

定員管理、人件費抑制について、どのように考え実践しているのか。

〈答 弁〉 総務課長

職員については、平成17年度157名であったが、26年度は132名と比較すると25名の減である。職員給で見ると17年度が7億561万4千円で、24年度は

6億1,831万2千円となり、比較すると8,730万2千円の減になっている。

職員構成からいうと132名中40歳から44歳の職員が43名おり、割合にすると33%である。これを是正するためには時間が必要であり、今後、その辺を踏まえ、一定の年齢層に偏らないよう職員採用等に十分注意しながら定員管理を行っていききたい。

〈質 問〉

今年の職員募集について若干名とあるが、定員管理や行政改革について確固たる信念があれば、具体的な数字を提示すべきである。

〈答 弁〉 総務課長

職員採用については、組織の活性化、業務の継続性という観点から必要最小限で考えている。現在の職員

のレベルアップを図りながら、臨時で対応できるものは臨時で極力新規採用を抑え、適正な定員管理を行っていききたい。尚、募集人員の表現については、市町村によって様々であり若干名としている自治体もあり、また、1人程度、3人程度という表記もある。以前には、1次試験、2次試験、面接を行い採用に至らなかった年もあった。町では、できるだけ優秀な人材を採用したいと考えているのでご理解いただきたい。



宮本 秀樹 議員

・空き家対策について

〈質 問〉

人口減少に伴い空き家が急速に増えてきており、防犯上の意味からも空き家対策を早急に検討する必要がある。各地の市町村条例を参考に町独自の条例整備を進めてもらいたいと考えを聞きたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

防犯、防災、環境の面から対応は必要と考えるが、現在、実態を把握していない。対応としては、住民より空き家の苦情、草、樹木等の相談があった場合は現地を確認し、所有者に対し定期的に除草、清掃等をお願いしている。

〈答 弁〉 総務課長

警察では、周りの方から物騒だから定期的に見回ってほしいという要望があれ

ば巡回する。また、不法侵入や住民からの通報で取り締まることはできるとのことである。

消防では、ガソリンや灯油等周囲に燃焼の恐れがある場合は、その物件の除去を命令でき、従わなければ代執行で行うことができる。枯草等の心配があれば是正の指導措置等の通知を発送していくことはできるといふことである。

〈質 問〉

この問題は、法律上難しいことであるが住民はみんな困っており、今後ますます増えてくると思われる。地域住民は安心して暮らすことが困難な状況にもなってきたおり、早急な条例整備の検討をお願いしたい。

〈答 弁〉 町長

ご指摘のようにどんどん空き家が増えている状況を

踏まえて、当町にあった空き家条例の整備を検討していきたい。その際には、議会の皆様にもご意見をいただきながら、考えていききたいと思っている。

・県道河内竜ヶ崎線について

〈質 問〉

河内竜ヶ崎バイパスにおいて、久夫の交差点から宮渚方面に入ってくる道路の整備の見通しを聞きたい。また、宮渚から幸谷入口の信号に出る道路は、河内地先に関して、まだ何の措置もしていない状況である。例えば幸谷の信号へ直接入れる道路ができればいいと思うがご意見をお聞きしたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

久夫の交差点から東側、河内に向かって1・9キロ

の美浦栄線までの龍ヶ崎部分については、今後、用地買収を進め地盤改良していくとのこと。河内部分については、土地改良で創設換地されており、これから地盤改良等進んで行くものと思われる。

工事の進捗については、龍ヶ崎側から進んでくる予定であり、当町の幸谷の信号へ直接接続される計画ではないということである。

〈質 問〉

その道路の幅は、大型車が通れるような道幅はあるのかお尋ねしたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

問い合わせたところ、用地幅は11・5メートルを確保しており、歩道をつけても恐らく6メートル以上の道路になり、大型車も通れる用地幅であると思われる。



龍ヶ崎市久夫から続く河内町地内

星野 初英 議員

・まちづくりについて

〈質 問〉

定住促進について、今まで取り組んできた施策、経緯と結果、途中経過も含め聞きたい。また平成20年か

らの人口推移を聞きたい。

〈答 弁〉子育て支援課長  
定住促進の一環で、現在実施している施策に次世代育成支援金支給事業があり、出産、子育てに対し、保護者に支援金を支給している。平成17年から開始し、平成26年3月末までに対象となった子供は222名で、内訳は第2子が135名、第3子以降が87名である。

〈答 弁〉都市整備課長  
町営住宅については、河内みどりの里団地1号棟、2号棟が平成12年度より入居を開始し、現在16世帯48人いる。子育て支援住宅、河内たいようの里団地は、平成25年度より入居を開始し、現在15世帯55人いる。合計31世帯103人である。また、平成20年12月の人口は1万798人で、平成25年12月の人口は9,906人で892人の減少である。

効だと思われるが考えを聞きたい。

〈答 弁〉総務課長  
自販機のメーカーに問い合わせたところ、自販機の中にAEDが組み込まれたものがあるが防犯上、盗難の危険があるため屋外には設置してはいけないこと。屋外では難しいが、今後、公共施設内の自販機の更新時には、その都度検討していきたい。

〈質 問〉  
AEDの講習会について、住民に対し広く進めていく必要がある。また、インターネットでAEDの設置場所が検索できる日本全国AEDマップに登録し、有効活用を図ったかどうか。

〈答 弁〉総務課長  
消防署にご協力いただき定期的な講習会が必要だと思われる。受講者について



河内たいようの里団地

〈質 問〉  
先日、定住促進に力を入れていた兵庫県川西市に行き、親元近居助成制度という施策について聞いてきた。市内に住む親世帯と同じ市内に近居するため住宅を購入した子育て世帯を応援する制度で、いろいろな効果をもたらした実績を上げているらしい。このような取り組みについてどのように考えるか。

〈答 弁〉町長  
この親元近居助成制度に

は、人数的なこともあるのでまずは役員ごとにするとか、徐々に裾野を広げていくことが考えられる。インターネットへの掲載については検討していきたい。

福智 正之 議員

・学校統合による  
小中一貫校について

〈質 問〉  
水と緑のふれあい公園に新設校建設を進める方向で説明展開を図っているが、一貫校を建築しなくても良いと考えるが、もう一度町民の意見をよく聞き原点に戻って判断していただきたいと思うがどのようにお考えか。

〈答 弁〉町長  
将来の河内町を担っていく子供たちのために、一番いいところに教育環境を整えた方がいいと考えてい

ついで、もっと詳しく調べたい。住民が自由に前向きな意見が言えるように公共施設、またはホームページで受け付けるようにしたらどうか。

〈質 問〉  
パブリックコメントについて質問したい。住民が自由に前向きな意見が言えるように公共施設、またはホームページで受け付けるようにしたらどうか。

〈答 弁〉秘書広聴課長  
町民の方からアイデアをいただき、まちづくりに反映させることはとても大切なことであると思っている。昨年の10月にまちづくりについて郵送とメールで意見を募集したが、余り意見は寄せられなかった。要望が

る。水と緑のふれあい公園は自然豊かで、敷地も広く、アンケートの記述の中でも町民の方が書いてくれている。既存の施設が使えれば一番いいが、施設もだいぶ老朽化してきており、長寿命化の計画段階になってきている。財政上費用対効果を考えた上で議会と鋭意協議を重ね、いい方向にしていきたい。

〈質 問〉  
工事予算の積算について坪97万6千円と説明しているが、今日の状況においてもその単価で建築は可能であると判断できるのか。

〈答 弁〉町長  
基本設計はこれからであり、基本設計をすることによって現実的な数字が見えてくる。経済状況は一刻一刻変わり、2020年はオリンピックである。資材が

あるということであれば、ホームページ上に専用の定型ホームページとか、ご意見箱の設置など前向きに考えていかなければならない。

・AEDについて

〈質 問〉  
町内のコンビニへのAED設置について、進捗状況を聞きたい。

〈答 弁〉総務課長  
9月2日、町内4店舗すべてにAEDの設置が完了した。このことについては、既に設置してある町の公共施設と併せ、一覧表にして10月の広報及び回覧で周知を図っていくこととなっている。

〈質 問〉  
自動販売機にAEDが設置されているものがある。公共施設やコンビニから遠い場所の設置方法として有

上がっていくことが想像される。的確な数字は基本設計をしてみないと分からないがこの予算の中で計画が進められればと思っている。

〈質 問〉  
小中一貫校は賛成だが建築となると賛成できない。人口減少が進み税収減も避けられないと思う。農家も米価が下がり減収で不安になっており、この計画ももう少し先に延ばせないか。

〈答 弁〉町長  
本当ならば財源を確保してから始めるのが一番いいと思うが子供の成長は止まらない。財政問題は、まだ実際に支払うまでには時間があるので、その中で財源を確保しながら間違いなく返済できる。財政上見通しがつかないのであれば子供たちの教育環境を同時に整備していくのが町の将来を考え

た場合に最良だと思っ  
る。そのために、我々大人  
が我慢すべきところは我慢  
し、協力すべきところは協  
力し、町民全体で子供たち  
のことを考えていくこと。  
子供たちに一刻も早く環境  
を整えてやるのが大人の責  
任だと思っっている。



・寿大学存続を求め  
る請願について

6月定例会で寿大学存続  
を求める請願について採択  
されたが、今後の寿大学の  
対応について聞きたい。

〈答 弁〉 町長

である。基準財政需要額は、  
10年度が一番高く29億8、  
800万円、これは平成  
の初めに借り入れた下水道  
事業、河中・金中体育館改  
築事業、ふれあい公園造成  
工事等の地方債償還が算入  
されているためである。15  
年度から25年度をみると25  
億円前後で推移している。

〈質 問〉

今後の税収が下がって  
ると予算的にも縮小する  
という傾向になっていくのか、  
または基準財政需要額の中  
で国の方で補填されるのか。  
〈答 弁〉 企画財務課長  
 当町の収入は、一般財源  
でいうと国の財政計画によっ  
て変わってくる。27年度を  
みると国でも必要な財源を  
安定的に確保する必要があ  
るということで、今のところ  
地方交付税を伸ばす予定  
である。

これは廃止ではなく長寿  
クラブと一緒にになってもら  
いたいと思っっている。寿大  
学も長寿クラブも目的は殆  
ど変わらないようなので、  
統合して一緒に話し合っ  
て役員構成も含めて、我々の  
お手本になるような組織を  
つくっていただきたい。

大野 佳美 議員

・人口減少問題について

〈質 問〉

人口減少に対してどうい  
うような方策をこれからとっ  
ていくのか考えを聞きたい。

〈答 弁〉 町長

人口減少問題は、国もい  
ろいろ対策を進めているが、  
地方は地方でできることを  
やっていかなければならな  
い。そのために執行部と議  
会、場合によっては専門家  
も交えて議論し勉強してい  
きたいと思っっている。例え

議会全員協議会

〈第2回（9月8日）〉

平成26年度一般会計補正予算  
（第2号）について（議案第6号）  
今期定例会に提出された一般  
会計補正予算中、教育予算につ  
いて執行部に説明を求めた。

Q 教育費の統合校基本設計委  
託料及び金江津中学校耐震診  
断業務委託料を計上したこと  
について説明を求めた。

A 統合校基本設計業務委託料  
については、議会への説明及  
び住民説明会でも説明してい  
るとおり、学校統合基本計画  
（案）のスケジュールに基づき  
今期定例会に計上した。金江  
津中学校耐震診断業務委託料  
については、文科省の公立義  
務教育学校施設の整備に関す  
る基本方針に沿って、平成27  
年度までの耐震化を目指し計  
上したものである。

統合校基本設計委託料に関し  
ては、何十回も説明会を開催し  
ており、計画どおり進める方が  
良いとの意見。

ば北海道の取り組み事例を  
みると若者が一度進学や就  
職で流出して、地元に戻る  
ために地域の企業の受け入  
れや中高年の地方移住促進  
あるいは企業の本社機能の  
移転とか地域経済の構築に  
必要な人材の地方への配置  
等各地でその地元にあった  
対応をしている。先進的な  
取り組みなど参考にしながら、  
活性化のため少子化対  
策のためにも皆さんのご意  
見や諸施策を取り入れてい  
きたいと思っっている。

〈質 問〉

中高年の地方移住の支援  
だとか地方移住関心層にP  
Rをして、外から入ってき  
てもらおう枠組みをつくるの  
も一つの方法だと思っがど  
うか。

〈答 弁〉 町長

近隣の町村で引っ張り合  
いをして意味がないので、

住民への説明会も一段落した  
ところであり、議会として時  
間をかけ、調査、検討してい  
くべきとの意見があり、執行部  
に統合校基本設計委託料計上  
の再検討を求めた。

〈第3回（10月8日）〉

学校統合問題について  
 つくば市春日学園（小中一貫  
校）及び同市竹園学園（小中連  
携型）の視察を参考に当町の今  
後の学校教育の進め方について  
教育委員会の考えを確認し、学  
校統合問題について、統合の方  
法や時期、財政面での問題につ  
いて議員間の討議を行った。ど  
のようにすれば、子供たち、町  
にとって一番良いかを念頭に置  
き、将来を考え慎重に進めるべ  
きとの意見、また統合賛成の要  
望に早急に進めるべきとの  
意見が、だされ議論が深められた。

〈第4回（10月15日）〉

学校統合問題について  
 財政問題や小中一貫校を建築  
すること（案）に関して執行部

できれば都内から入ってき  
てもらえるような方策を考  
えて、空き家条例の中に定  
住促進を含めた施策などを  
盛り込み、今後展開してい  
きたい。

・財政問題について

〈質 問〉

今年の米価の下落に伴い  
来年度の税収減が見込まれ  
る。平成10年からの決算状  
況、交付税、基金、基準財  
政需要額を聞きたい。

〈答 弁〉 企画財務課長

平成10年度と25年度の比  
較でいうと地方交付税は、  
10年度20億337万7千円、  
25年度17億3、859万9  
千円と臨時財政対策債が2  
億円ありマイナス6、47  
7万8千円である。基金は、  
10年度残高が11億4、28  
9万5千円、25年度残高が  
12億1、619万8千円で  
7、330万3千円の増額

に再度説明を求め、細部にわた  
り質疑を行い、各議員が学校統  
合について議論を重ねた。  
 学校統合の問題点の整理、確  
認、また執行部から学校統合の  
必要性、小中一貫教育のメリッ  
トなど説明を受け激しく議論が  
交わされた。



第4回議会全員協議会

平成26年第1回  
河内町議会臨時会

〈補正予算〉

・平成26年度河内町一般会計補正予算(第3号)について「可決」  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25,097千円を追加し、歳入歳出予算に総額をそれぞれ3,882,056千円とするもの。  
教育費予算を増額し、統合校基本設計費を計上したもの。

〈賛成討論〉

**星野 初英 議員**  
一番に考えなければならぬことは、金江津中学校の安全だと思ふ。1日も早く河内中学校に移動させることが大事である。町内の各学校のほとんどが築35年以上であり、何年かしたら立て直し、又は手を加えなければならぬ。既存の学校に統合することが理想と考えるが、それができないのであれば新設校を建て統合を実現する方法しかない。目的は子供たちのために統

合すること。そして、当町を担う子供たちの安全安心と、夢の持てる教育を受けさせたい。

**宮本 秀樹 議員**

以前から学校を統合しなければならぬ状況であったが、町民の方の意向と執行部の考えが一致しないまま今日まで来たのが現実である。当町はかなり少子化が進んでおり、視察に行つた春日学園のように小学1年から9年間の一貫校の教育で、1日も早く河内の子どもたちの学力向上を目指し、そして楽しく勉強ができるようにしてもらいたい。

**牧山 龍雄 議員**

既存の校舎もあと10年後20年後には手を加えたり直したりするようになる。改修するのには23億円よりもっとかかると思ふ。今やらないとその負担を子供や孫に押し付けることになる。河内は素晴らし教育をしているのだと、町のイメージを上げるためにも、一貫校で新設校を望む。

**青野 正 議員**

今まで、河内、金江津という立場でいろいろな意見があり学校統合問題はまともなかつたが、全員協議会の中で何回も確認、質問し、予算的に大丈夫であると言っている。河内、金江津と分かれていたが、一つの学校になれば河内町が一つになり一体感が生まれる。一番大事な事である。

**野澤 良治 議員**

37億円の一般会計予算規模で、学校統合に23億円かかるということだが、1年ですべて使うわけではない。起債の返済は3年後、4年後から返済開始ということ、安定した財源のもとで建設を進めると聞いている。今回の基本設計予算を可決し、子供たちのために一緒になってまちづくりを進めていくことが良いと考える。

**服部 隆 議員**

金江津の小・中・こども園の保護者、家族の9割が学校統合に賛成の意見を述べている。河内町が一層良くなるように賛成する。

〈反対討論〉

**雑賀 茂 議員**

理由の一つは、財政の問題である。執行部より示された建設費23億円の財源は、補助金、起債、一般財源になっているが、人口が激減している本町において10年後、20年後は負担割合が増してくる。税金においては予想以上の減収になるものと思慮する。統合による経費節減との相殺で毎年約3,000万円の新たな負担は行政サービス低下を招きかねない。

**大野 佳美 議員**

37億円の予算規模で学校統合に23億円の支出をすることは将来を危惧する。今年の米価の下落、来年度の税収においても減収が見込まれる。今までの予算を見ても9億円くらいの固定資産税の税収しかなく、交付税頼りの中で23億円を支出することは、若い人たちに對しての負担が多くなるのではないかと心配である。

県南町村議会議員大会報告

平成26年11月11日、美浦村中央公民館において、県南町村の議会議員が一堂に会し、県南町村議会議員大会が開催されました。

我々町村は、国民の生命を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、個性あるまちづくりを進めてきました。

しかしながら、都市部では景気回復の兆しが見られるものの町村は、少子・高齢化や過疎化の中で、依然として厳しい経済・雇用情勢に悩まされ、地域の活力は減退しています。加えて、東日本震災と福島第一原子力発電所事故による影響は、被災地のみならず我が国社会全体に及んでおり、本格的な復興に向けてまだまだ多くの課題が山積しています。

今こそ、英知と決断、そして迅速な対応により本格的な復興への取り組みを加速させるとともに、地方の創生と人

口減少の克服を図り、町村の自治能力を高め、都市と農山漁村が「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要です。

国は、地方分権改革を推進するため、本年、「第4次一括法」を制定するとともに、新たに「提案募集方式」を導入したが、依然として残された課題は多く、これまで以上にきめ細かく町村の声に耳を傾け、真の分権型社会が実現することを大いに期待するものです。しかし、地方分権とは似て非なる道州制の導入に對しては、断固として阻止しなければなりません。

以上を踏まえて、我々議会人は、県南町村議会議員大会を開催し、一致結束して果敢に行動していくことを宣言しました。

その後、民族研究家 結城登美雄氏により「地域づくりを考える」と題し、講演会が行われました。この講演では、地域をどのように活性化させるか。地域を活かしたものづくりや身近にある地元の素材をいかに収入につなげるか。食を通

して子供からお年寄りまで心がつながる豊かなふるさとづくり等、先生の取り組んでこられた数々のプロジェクトについて、大変意義深く聴講致しました。

今後は、今大会を糧に議員それぞれが、町行政の議決機関として研鑽を積み、より一層開かれた議会を目指し、町発展のため努力してまいる所存であります。

以上で報告を終わります。



**福智 正之 議員**  
学校統合には賛成であるが、小中一貫校建築はオリンピックが終わってからも遅くないと思う。建設費は23億円と言っているが、町民はもつとかかると考えている。今年米価も下落し、来年はまだ下がるとの予想である。こんなに米価が下がったのに、今学校を建てなくても農家の方々は思っている。



「地域づくりを考える」結城登美雄氏 講演

## 平成26年第4回(12月)定例会一般質問

| 質問日   | 番号 | 氏名     | 質問事項                                      |
|-------|----|--------|---|
| 12月3日 | 1  | 野澤良治議員 | ・農業問題について                                 |
| 〃     | 2  | 服部隆議員  | ・町の財源確保について<br>・職員の管理体制について               |
| 〃     | 3  | 牧山龍雄議員 | ・防犯対策について<br>・小中一貫校について<br>・かわち直販センターについて |
| 〃     | 4  | 青野正議員  | ・統合小中一貫校について                              |
| 〃     | 5  | 星野初英議員 | ・消費者教育の充実について<br>・地域の課題解決について             |

- ・一般質問は、午前10時頃から始まる予定です。
- ・質問時間は、質問・答弁合わせて一人60分以内です。

### 議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。  
 町議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。  
 12月定例会は11月27日(木)から12月3日(水)までの予定です。  
 詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。 TEL 0297-84-2111 (内線) 201

### お知らせ

「かわち 議会だより」は本会議で行われた内容を要約してお知らせしております。  
 詳しくは河内町議会会議録をご覧下さい。議会会議録は、河内町のホームページからご覧いただけます。

また、会期の日程や一般質問事項表、議案目録等も詳しくご覧いただけます。  
 URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>

## ◆ 議会議長及び議員の主な動向 ◆

平成26年9月から平成26年11月

|       |                                  |        |                              |
|-------|----------------------------------|--------|------------------------------|
| 9月1日  | 子ども・子育て支援審議会                     | 19日    | 県南南部消防ポンプ操法競技大会及び解団式         |
| 4日    | 平成26年第3回議会定例会本会議初日／<br>決算審査特別委員会 | 23～24日 | 県議長会行政視察／龍ヶ崎地方塵芥処理組合視察研修     |
| 5日    | 決算審査特別委員会／教育厚生常任委員会              | 26日    | 町PTA連絡協議会指導者研修会              |
| 6日    | 町内中学校体育祭                         | 27日    | 内外情勢調査会茨城県支部懇談会              |
| 8日    | 全員協議会                            | 28日    | 平成26年第1回議会臨時会／龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会 |
| 9日    | つくば市春日学園視察                       | 29～31日 | 県南町村会行政視察                    |
| 12日   | 平成26年第3回議会定例会本会議最終日              | 31日    | 龍ヶ崎地方塵芥処理組合全員協議会             |
| 14日   | ふるさとかわち収穫祭                       |        |                              |
| 19日   | 交通安全街頭キャンペーン                     |        |                              |
| 20日   | 町内各小学校運動会                        | 11月2日  | かわちフェスタ2014                  |
| 28日   | 町消防ポンプ操法大会                       | 5日     | 稲敷広域市町村圏事務組合議会定例会            |
| 29日   | つくば市竹園西小学校視察                     | 11日    | 県南町村議員大会                     |
| 30日   | 県南南部消防ポンプ操法競技大会出場結団式             | 12日    | 町村議会議長全国大会／龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会  |
| 10月2日 | 県南町村議会議長会                        | 13日    | 金婚式                          |
| 8日    | 全員協議会                            | 19日    | 自立支援協議会                      |
| 12日   | 町民運動会                            | 20日    | 町追悼式／議会運営委員会／全員協議会／広報委員会     |
| 15日   | 全員協議会                            | 27日    | 平成26年第4回議会定例会本会議初日           |
| 17日   | 龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会                 | 30日    | 歩け歩け会                        |
| 18日   | 敬老福祉大会                           |        |                              |

|        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 〈広報委員〉 | 委員長 牧山龍雄 | 副委員長 廣瀬裕 |
|        | 委員 野澤良治  | 委員 雑賀茂   |